© 今中・佐々木（2026）、Michie, Atkins & West (2014)

表 3.9　最初の 8 つの BCTs の変化に関する内容とメカニズム（フルバージョンは付録 5 を参照）

BCT	［介入］機能	テキストの記述	ケイパビリティ				機会		動機づけ					
			身体的	心理的			社会的	物理的	内省的					自動的
			スキル	知識	記憶・注意・意思決定プロセス	行動調整スキル	社会的影響	環境的コンテキストと資源	ケイパビリティに関する信念	結果に対する信念	社会的／専門職的役割とアイデンティティ	楽観主義	目標	感情
健康の結果に関する情報提供	教育、説得	スタッフには敗血症の危険と、パスに従うことの有効性が伝えられた。												
結果の重点	説得	スタッフには敗血症で不必要に死亡した若い患者のことが伝えられた。												
社会的な比較	説得	スタッフは他の病棟の高い遵守率について伝えられた。												
行動の実演	トレーニング（訓練）	スタッフは Sepsis Six の訓練シミュレーションに立ち合い、参加した。												
行動を実行する方法の指示	教育													
行動の練習／リハーサル習慣形成	トレーニング（訓練）													
行動に対するフィードバック	説得	スタッフの遵守状況は委員会と介入実装担当者によりモニターされ、グループミーティングで言語によるフィードバックがなされた。												